



2024年7月22日

各位

会社名 窪田製薬ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長、社長兼最高経営責任者
窪田 良
コード番号 4596 東証グロース
問合せ先 広報・IR部
(TEL : 03-6550-8928 (代表))

双日九州への「Kubota Glass」納品のお知らせ 中国販売拡大に向けた提携開始

窪田製薬ホールディングス株式会社(本社：東京都港区、以下「当社」)は、「Kubota Glass」の中国への輸出および販売を視野に入れた、双日九州株式会社(本社：福岡県福岡市)と売買契約し、最初の1台を出荷したことをお知らせいたします。

双日九州株式会社は、総合商社 双日株式会社の100%子会社で、双日グループに属する国内外約400社の関係会社や国内外の取引先とともに、世界の様々な国と地域で事業を展開しています。主な事業分野は、機械・エネルギー・IoT・食料・生活雑貨・家具等々、多角的な領域で、九州だけに留まらず国内の企業・産業と世界をむすぶ総合商社としての機能を発揮しています。本契約により、中国での「Kubota Glass」の1台目の出荷を開始しました。現時点では、追加の出荷は決まっていますが、今後は販売量を拡大することを目的とし、商談を進めていきます。双日グループの広範なネットワークと深い市場知識を活用し、中国市場において「Kubota Glass」の認知をさらに広め、今後も継続的に中国市場でのプレゼンスを強化してまいります。

中国では現在、約6億人が近視を患っており、その数は急速に増加しています。特に若年層での近視率が著しく、20歳以下の近視保有率は90%と報告されています。この背景には、長時間の電子機器の使用、屋内活動の増加、自然光の不足が影響しているといわれていますが、コロナ禍で低学年学童において近視の進行速度が増大した傾向があります。近視であること自体がquality of life (QOL) の低下に繋がると考えられていますが、強度近視に伴い、網膜剥離や緑内障などの重篤な眼疾患のリスクを高めるため、非常に深刻な問題となっています。

本件について、当社の代表取締役会長、社長兼最高経営責任者の窪田博士は次のようにコメントしています。「今回の双日九州株式会社との売買契約締結は、当社の『Kubota Glass』を世界に広めるための重要なステップとなります。双日九州の広範なネットワークと専門的な市場知識を活用し、中国市場において『Kubota Glass』の認知をさらに拡大し、多くの人々に効果的なソリューションを提供できることを大変光栄に思います。」

なお、本件による当社の2024年12月期連結業績への影響は軽微です。また、2024年12月期連結業績予測の



開示については、明確な見通しの立った時点で開示を予定しております。

以上

窪田製薬ホールディングス株式会社について

当社は、世界中で眼疾患に悩む皆さまの視力維持と回復に貢献することを目的に、イノベーションをさまざまな医薬品・医療機器の開発及び実用化に繋げる眼科医療ソリューション・カンパニーです。当社 100%子会社のクボタビジョン・インク（米国）が研究開発の拠点となり、革新的な治療薬・医療技術の探索及び開発に取り組んでいます。現在は、ウェアラブル近視デバイス「クボタメガネ」および、在宅・遠隔医療分野（モバイルヘルス）における医療モニタリングデバイス「eyeMO®」などの医療機器開発に注力しております。

（ホームページアドレス：<https://www.kubotaholdings.co.jp>）

免責事項

本資料は関係情報の開示のみを目的として作成されたものであり、有価証券の取得または売付けの勧誘または申込みを構成するものではありません。本資料は、正確性を期すべく慎重に作成されていますが、完全性を保証するものではありません。また本資料の作成にあたり、当社に入手可能な第三者情報に依拠しておりますが、かかる第三者情報の実際の正確性および完全性について、当社が表明・保証するものではありません。当社は、本資料の記述に依拠したことにより生じる損害について一切の責任を負いません。本資料の情報は、事前の通知なく変更される可能性があります。本資料には将来予想に関する見通し情報が含まれます。これらの記述は、現在の見込、予測およびリスクを伴う想定（一般的な経済状況および業界または市場の状況を含みますがこれらに限定されません）に基づいており、実際の業績とは大きく異なる可能性があります。今後、新たな情報、将来の事象の発生またはその他いかなる理由があっても、当社は本資料の将来に関する記述を更新または修正する義務を負うものではありません。